

# 2026年度 大学院『研究論集』 論文募集要項

本年度の応募論文は、本要領に従ってください。

法学・商学・経営学・文学研究論集	第65号及び第66号
政治経済学研究論集	第18号及び第19号
理工学研究論集	第8号及び第9号
農学研究論集	第13号及び第14号
情報コミュニケーション研究論集	第27号及び第28号
教養デザイン研究論集	第28号及び第29号
国際日本学研究論集	第23号及び第24号
グローバル・ガバナンス研究論集	第8号及び第9号

研究論集は年2回の発行で、年2回の応募が可能です。応募にあたっては、テーマ、内容等に関し、あらかじめ指導教員とよく相談をしてください。

応募論文は、単著とし、各号につき、一人1本です。

## 1. 予備登録

- (1) 予備登録の際は、指導教員の許可を得たうえで、本学ホームページを参考に、予備登録受付期間中に0h-o! Meijiのグループ「[大学院研究論集（9月発行）](#)」・「[大学院研究論集（2月発行）](#)」から氏名・論文題名等を登録してください。
- (2) **経営学研究科**は予備登録不要です。
- (3) **政治経済学研究科**は予備登録の際、論文概要（日本語400字程度または英語150ワード程度）も併せて登録が必要です。
- (4) **国際日本学研究科**は予備登録期間などが他の研究科と異なります。
- (5) 応募資格（[3. 応募資格を参照](#)）を満たした**修了生・退学者**が論文の予備登録（経営研は審査用論文提出）を行う場合は、予備登録期間前に**研究論集提出理由書**（HPよりダウンロードし、内容を確認、指導教員等の了解を得た上で記入）をメールで提出してください。提出後、予備登録の手続きを進めてください。

## 2. 論文内容

- (1) 論文は、専攻分野に関して高度の専門性を備えた学術論文のほか、学術調査、共同研究を含め、学術上対外的に発表するに値するものと認められるものでなければならない。
- (2) 論文は、専攻分野における研究に寄与するもので、明白な誤りがないものとする。
- (3) 論文は、原則として、他の出版物（学内発刊物を含む）等に掲載または掲載予定の論文と同一ではないものとする（=二重投稿の禁止）。
- (4) 論文の満たすべき具体的条件については、各研究科別に基準を設ける。  
ただし、全般にわたる論文の実証性・合理性については、以下の諸点に留意すること。
  - ① 研究素材の理解が正しく、解釈に無理はないか。
  - ② 事実認定に実情を無視したところはないか。
  - ③ 概念の使用が一貫しているか。
  - ④ 論理の進め方に不合理な点はないか。
- (5) 法学研究科については、(1)のほか次の原稿も認める。**ただし、博士学位請求要件の研究業績への算入については、指導教員と相談すること。**
  - ① 研究ノート
  - ② 判例研究
  - ③ 資料

上記原稿を提出する際は、予備登録時の設問「論文題名」に種別も記入すること。

### 3. 応募資格 ※(1)・(2)共に満たす必要があります。

- (1) 以下①～③のいずれかに該当し指導教員の許可を得た者。（退学者・修了生は在学の指導教員、指導教員が退職している場合は所属研究科の専攻主任の許可を得ること）
- ①本学大学院在籍者（科目等履修生・聴講生・研究生・特別聴講学生を除く）
- ②本学大学院博士前期課程・修士課程修了後2年以内、かつ本学大学院博士後期課程の受験を希望する者
- ③本学大学院博士後期課程入学後8年以内の者
- ※ ②・③に該当する者は、「研究論集提出理由書」を予備登録前に提出しなければならない。また、既に他の大学又は研究機関に属し、研究発表を行える者は応募資格を持たない。
- ※ 交換留学生については、博士前期課程・修士課程の場合、受入期間終了後2年以内、博士後期課程の場合、受入後8年以内である者を対象とする。
- (2) 論文提出までに本学が指定する研究倫理教育（e-APRIN）を受講・修了していること。ただし、次の①・②に該当する者は、論文提出までに日本学術振興会が提供する研究倫理eラーニングコース（<https://elcore.jsp.go.jp/top.aspx>）を受講・修了し、修了証書を提出することで、研究倫理教育を受講したものと見做す。
- ① 新入生であることが理由で論文提出までにe-APRINを受講できない場合  
(9月発刊のみ)
- ② 修了・退学前にe-APRINを受講していない場合
- ※ eラーニングコースの受講により研究倫理教育（e-APRIN）を受講したものと見做すのは、研究論集独自の運用となるため注意ください。

### 4. 作成方法

- (1) 用紙：A4横書き（ただし、法学・文学・教養デザイン・国際日本学研究科は縦書きも可）
- (2) 字数：28,000字以内。欧文での執筆の場合は1万ワード以内。  
(目次・本文・注記が制限字数に含まれる。)  
(論文要旨・キーワード・参考文献は制限字数に含まれない。)
- (3) 書式：横書き（1ページあたり）44字×34行、ページ数20枚以内  
縦書き（1ページあたり）2段組 32字×23行、ページ数21枚以内  
(H Pの書式を利用すること。横・縦書き共に、論文題名・論文要旨・キーワード・図表・参考文献等の掲載ページも制限枚数に含まれる。)

### 5. 論文執筆上の注意

- (1) 論文執筆にあたっては、必ずHP記載の書式を利用してください。

「論文題名」「執筆者氏名」「論文要旨（日本語500字以内、欧文100～200ワード）※」「キーワード（5つ）」「本文」の順に記載してください。

※論文要旨に別の文字数指定がある研究科

＜経営学研究科＞

本文が邦文の場合、欧文の論文要旨を100～200ワードで作成すること。

本文が欧文の場合、邦文の論文要旨を300～500字程度で作成すること。

＜政治経済学研究科＞

欧文要旨の場合は500ワード以内で作成すること。

- (2) 原稿ページ数の超過は認めません。厳守してください。

【制限字数内でも、ページ数が超過している場合は受理できません。】

- (3) 全文を欧文で作成する場合も、原稿の制限枚数は原則として日本語と同じとします。
- (4) 注の書き方については、指導教員に確認のうえ、既刊の各研究論集を参考にしてください。特に、邦文文献名には『』を付し、欧文文献名はイタリック体にしてください。
- (5) 全ページにページ番号をつけてください。
- (6) 掲載決定後の論文の入稿原稿は、審査済み論文につき、査読者から指導の入った箇所の修正のみとしてください。 入稿原稿提出以降の校正では、誤字脱字程度の修正以外は原則として認められません。なお、本人による校正は、再校までとします。

## 6. 提出書類及び提出方法

### (1) 審査用論文提出（初回提出）

提出書類及び提出書類の形式等は以下のとおりです。

**書類提出にあたっては最新版書式をダウンロードして作成してください。**

提出書類	ファイル形式	形式	提出方法
審査用論文	PDF	審査用論文はP.2「4. 作成方法」「5. 論文執筆上の注意」を参照のこと。	Oh-o!Meiji の研究論集グループへ提出 ※詳細は予備登録者へ Oh-o!Meiji で周知します
審査用論文の補足情報など	—	Oh-o! Meiji 研究論集グループの入力フォームより回答	

※修了生・退学者は、大学院共通メールアドレス([dai\\_in@mics.meiji.ac.jp](mailto:dai_in@mics.meiji.ac.jp))へ提出。

### (2) 審査後、掲載可となった論文の提出（論文の入稿原稿提出）

提出書類	ファイル形式	形式	提出方法
論文（入稿原稿）	Word／PDF (各1点)	P.2「4. 作成方法」「5. 論文執筆上の注意」を参照のこと。	Oh-o!Meiji の研究論集グループへ提出
明治大学学術成果リポジトリ登録・公開許諾書	PDF (窓口提出も可)	所定書式をホームページよりダウンロードし、入力のうえ提出。	

※入稿時の論文の修正について

審査済み論文につき、査読者から指導の入った箇所の修正のみとしてください。

※掲載論文の謝辞の取り扱いについて

掲載論文における学内関係者への謝辞は、学内論集のため原則不要です。ただし、指導教員との相談のうえで必要と判断される場合は、入稿原稿に謝辞を含めて提出してください。校正時の追加はページ数や体裁への影響があるため、不可となります。

## 7. 学術成果リポジトリへの登録と公開について

本研究論集に掲載される論文は、原則として電子データで明治大学学術成果リポジトリへ登録し、公開することを前提とします。リポジトリへの登録・公開に関しての詳細は「[明治大学学術成果リポジトリ](#)」に掲載されている[運用指針](#)をお読みください。リポジトリ公開を許諾できない事情がある場合は、必ず予備登録時に大学院事務室まで相談ください。

## 8. 抜刷りの贈呈

論文掲載者のうち希望者には、抜刷50部を贈呈します。なお、抜刷の増刷を希望する者は、初校原稿提出時までにご申請ください。（増刷分については、別途実費を徴収します）。

## 9. その他

- 期限は厳守してください。特に提出書類をOh-o! Meiji等で提出する際に、不測の通信障害やファイルの容量等により、提出場所へのアップロードに時間がかかる（あるいはアップロードできない）可能性がありますので、時間に余裕を持って対応してください。いかなる場合も、期限を過ぎたものは一切受け付けません。
- 日程等は事情により変更される場合があるので、Oh-o! Meiji等の案内をよく確認してください。
- 論文題名の変更は原則として、指導教員に許可された者のみとします。変更する場合は必ず大学院共通メールと所属研究科事務担当にメールで連絡をしてください。

大学院生諸君へ

## 研究活動における不正行為への注意

明治大学大学院

昨今、大学を含む国内外の諸研究機関に対して、科学・学術研究を行う際の倫理基準の遵守を徹底し、こうした基準に反する不正行為（論文の「剽窃（盗用）」、資料・データの「改竄・捏造」等）への厳正なる対応、またそれらを未然に防ぐための方策の検討が求められています。大学院生諸君にも、こうした不正行為に対する忌避の意識を新たにする必要があります。

不正行為は、それを行った個人のみならず、研究機関としての本学の社会的信頼を著しく低下させるものであり、絶対に許されない行為です。本大学院は、不正行為を行った者に対して、大学院学則に則り、処分等の厳正なる措置をとります。大学院生諸君は、あらかじめ以下の点に十分に留意し、研究活動を適正に遂行するよう努めてください。

### 【論文の剽窃（盗用）は社会的に許されない犯罪行為】

剽窃（盗用）行為は、他人の研究業績を無断で借用することであり、研究活動の倫理に反するだけでなく、他人の著作権を侵害する犯罪行為ともなる社会的に許されない行為です。

〔剽窃（盗用）行為とみなされる事例〕

- 故意の有無を問わず、活字媒体（書籍・雑誌・新聞等）やWEBサイト等に掲載された他人の文章（無署名の文章も含む）や資料等を、出典を明記せずにそのまま使い、あるいは前後関係や語句を若干変更した程度で、論文（授業中のレポート等を含む）を作成すること。
- 当人が作成した論文の構成において、引用文献（出典を明示して引用した文献）を研究目的上適切と認められる範囲を逸脱して利用すること。

### 【データの改竄・捏造は研究活動そのものに対する背信行為】

データの改竄・捏造は、研究成果それ自体に対する信頼をなきものとするだけにとどまらず、研究者としての信用を失墜させ、自ら研究者としての道を断つ行為であり、科学・学術研究に対する信頼を低下させる重大な背信行為です。

〔データを改竄・捏造したとみなされる事例〕

- 調査収集・実験等により得られた資料・データ等を意図的に書き換えること。
- 事実でないこと、また実際にはなかったことを事実であるかのように作り上げること。

### 【不正行為に対する大学の処分】

以上のような不正行為が発覚した場合には、事実確認のうえ、当該学期または学年の単位の無効化は言うまでもなく、大学院学則第62条の規定に則り、「けん責」、「停学」または「退学」の懲戒処分を行います。

以 上

## 研究論集第 65 号等及び第 66 号等の発刊までの日程について

	2026年9月発刊（第65号）			2027年2月発刊（第66号）		
	法、商、政経、文、理、農、情、教、GG	国日	経営	法、商、政経、文、理、農、情、教、GG	国日	経営
予備登録期間	2026/3/9～ 3/13 10:00	2026/3/2～ 3/6 10:00			2026/6/22～6/26 10:00	
審査用論文提出締切【厳守】	4/3～ 4/9 10:00	3/23～ 3/27 10:00	4/1～ 4/4 10:00	9/1～ 9/18 10:00	8/26～ 9/1 10:00	8/24～ 8/28 10:00
中間修正期間	政経研、経営研、国日研、GG 研は中間修正がある場合があります。 ※期間は研究科からの指示に従ってください。					
掲載者発表	5月下旬～6月初旬			10月下旬～11月初旬		
論文修正期間	<p style="text-align: center;"><u>掲載者発表後約 2 週間</u></p> <p>査読者から指導の入った箇所を修正してください。  <u>原則として、修正期間後の論文修正は認めておりません。</u></p>					
入稿論文提出	6月中旬			11月中旬		
初校（執筆者）	7月初旬			12月初旬		
初校原稿提出・ 抜刷増刷申込締切	<p><u>内容の修正は認めません。誤字脱字程度の修正に限ります。</u></p>					
再校（執筆者）	7月中旬			1月中旬		
	8月上旬			2月上旬		
	<p><u>初校時に修正した部分の確認及び誤字脱字程度の修正に限ります。</u></p>					
発刊	2026 年 9 月 4 日(金)【予定】			2027 年 2 月 26 日(金)【予定】		

以上